

「日本ブランド発信事業」山中俊治東京大学大学院情報学環教授による講演  
「Design-led Innovation – Prototyping for Envisioning the Future」



山中教授講演会風景

当館主催

共催：IED 大学(Institute Europeo di Design)

事業日(期間):2016年11月7日(月)19:30~21:00

事業場所:IED 大学(Institute Europeo di Design)

事業要約(参加者数):103名

11月7日、在サンパウロ総領事館は「日本ブランド発信事業」の一環として、デザインエンジニア／東京大学大学院情報学環教授、山中俊治氏をお招きし、「Design-led Innovation – Prototyping for Envisioning the Future」と題し講演会を実施しました。

本イベントは当地デザイン有力大学 IED (Institute Europeo di Design) 大学と連携して企画され、会場には多くのデザイナーや起業家が来場しました。様々な工業製品のデザインを行ってきた同教授の講演会を通じ、教授が世界に先駆けて行ってきた様々な取り組みを紹介すると共に、現代日本を形作る文化的背景、日本の伝統、価値観などをブラジルの若いデザイナーの卵及び社会の一線で活躍する起業家に向けて発信しました。

なお、中前総領事は冒頭挨拶のなかで、日本の強みや日本的な価値観、伝統、現代日本を形作る文化的背景等、日本の多様な魅力を海外に発信し、日本全体のブランド向上に資するため、外務省が実施している「日本ブランド発信事業」を紹介し、山中氏は、デザイナーとして乗用車、腕時計、家具、ロボット、義足など幅広い人工物をデザインする一方、IC カード改札機の基本設計を始め様々な基盤技術開発にも貢献。近年は義足や感覚に訴えるロボットなど、人との新しい関係を研究している、氏の活動に関する講演を行うことで、日本に対する理解の深化や文化交流の活発化が期待される、と述べました。

また講演会に先立ち、マルセロ・ダントスジャパン・ハウス企画局長より、当地に来年開設予定のジャパン・ハウスの概要を説明し、現地の人々が「知りたい日本」を発信することをコンセプトとした新たな発信拠点の周知を行いました。

日本ブランド発信事業についての詳細

[http://www.mofa.go.jp/mofaj/p\\_pd/pds/page22\\_001100.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/p_pd/pds/page22_001100.html)

山中俊治研究室／東京大学生産技術研究所

<http://www.design-lab.iis.u-tokyo.ac.jp/>



総領事冒頭挨拶



講演後の質疑応答



マルセロ・ダントスJH企画局長によるジャパン・ハウスの紹介